

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	スーパー（財務担当）	単価の動き	・客単価は、この一年、毎月前年を下回っていたが、既存店の客単価を3か月前の前年比で見ると、98.8%から99.8%と良くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数、販売量とも徐々に良くなっている。それに加え、今月は夏物衣料などファッション関係を中心に、単価の上昇がみられる。
			スーパー（店長）	単価の動き
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ワンピース等に売れ筋が見られるものの、全体としては、例年どおりのセール待ちの低調な状況が続いている。ただし、毎年行っているセール前のイベントであるジュエリー展（3日間）では前年実績を上回っており、高級品に対する顧客の購買力の高さを感じる。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・前月に比べて天候に恵まれ、男性物衣料（上下とも）が好調で全体を押し上げている。これに比べ、女性物衣料が不調であった。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・今月の来客数は、前年比約8%減少している。客については、先月から出費が多く少し我慢しているという客が多く見受けられる。今月は、レジまで来ない客が目立っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夕方の来客数が極端に少なくなっており、昼間のランチだけが頼りの状態である。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・景気は横ばい状態であるが、他地域でのイベントなどの関係もあり、道後地域では、客の動きが昨年より悪い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・5月の連休と比べると、客の動きは多少は良くなっているが、3月、4月と比べれば、ほぼ横ばい状態である。相変わらず夜の店は暇そうで、客の歩いている数も少なく、並んで待っていても、なかなか順番が回ってこない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来客数が少しずつ増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は昨年と比べ、雨が多いため来客数は減少しているが、雨が理由であることを考慮すれば、景気にはあまり関係はない。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・手持ちの物件が減少している。
	その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・来客数は増加しているものの、その理由は給与の増加ではなく、消費税引上げ前に高額な買物を済ませておきたいという思惑である。そのため、景気の変化といったものは関係なく、特に変化はない。	
	やや悪くなっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・例年より、売上はやや悪くなっている。同業者も、売上は落ち込んでいるようであり、週末の雨の影響がかなり出ている。また、大型店の出店も増加しており、売上は伸びない状況である。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・お中元が始まったが、少しスタートが遅い。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・5月の酒税改正前の反動が残っており、販売金額、販売量は低調なままである。サッカーワールドカップの影響もあり、料飲街の人出も少ない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・今月は、中盤までは少し良い傾向であったが、後半はかなり冷え込んでいる。クリアランスセールのための買い控えが、昨年度よりも如実に表れた傾向がある。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高共に前年同月に比べ減少している。衣料品及び雑貨等、総じて低調な結果である。
スーパー（店長）		お客様の様子	・近くの競合店がリニューアルオープンしたが、オープン価格で安いと、客が完全に競合店に流れている。	

		スーパー（予算担当）	販売量の動き	・食品・外食の売上高はこの2か月ほど堅調であるが、衣料品の動きが良くない。暑くなるのが少し遅れた分、リズムが崩れている。サッカーワールドカップ関連も、日本の一次リーグ敗退で、すぐに冷めた感じである。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・春以降の販売量が伸び悩んでいる。新型車の投入がないのも理由であるが、景気の不透明感、ガソリン代の高騰などマイナス要因が影響している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、昼間の雨が多いこともあり、昼間の客はそこそこであったが、夜の客は減少している。3月と比べると、客足も悪くなっている。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・競争相手の企業においては、人員削減が再開されており、実際に、5人、10人という単位で行われている。コスト削減も限界に近づいている。
	悪くなっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・気温が低いため、衣料品を中心に動きが悪い。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・ガソリン等、燃料の値上がりによる影響が出てきている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・県下の軽自動車市場の販売台数は前年比102%であり、前年を上回っているが、当社に限っては前年比88%であり、動きが悪くなっている。
企業 動向 関連	良くなっている	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・首都圏の景気回復に伴い、首都圏、大都市圏での大型商材の受注及び受注見込みが増加している。
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全般的には、タオルに関する消費に関してはまだまだ不透明感が残るものの、一部の小売店においては販売が伸びている。
		木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界全体には依然、停滞感が続いているが、当社においては、新商品、新規取引先の開拓により受注量が増加している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品の売上が増加してきたことと、トイレットペーパーの大手が価格修正を打ち出したことで、荷動きが活発になっている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・新年度に入り、お客様との会話の中に景気、個人消費が上向き、定着してきたとの声を聞く事が多くなった。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・総需要が前年同期を上回る状態が続いている。特に関東以西のクレーンの稼働率は高く、引き合い・商談が活発で、納期の対応に苦慮している。
		電気機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・競争は厳しいものの、競争相手先も順調に推移している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注競争が一段と激しくなり、受注価格が低下している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・前年同月比で、荷主企業からの出荷量が減少している。この傾向はここ数年変わっておらず、出荷のロット単位が小さくなっている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の販売不振により、売上が悪くなっている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・長引く原油高により、製品価格の引上げは定着したものの、顧客側は仕事の単価ダウン・仕事量の減少で購入にはかなり慎重である。ただし、造船関係で更新の受注があり多少救われている。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・先月、地場中堅の建設業者が倒産に至った。また小規模の土木工事業者の中には、自主廃業を検討しているところが出ている。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数ともに、前年度に比べ増加傾向にあり、新規求職者数、有効求職者数が前年同月に比べ減少傾向が続いている。新規求人数の中には開業を控えての求人募集がみられるようになった。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・正規の従業員を目指しての求職者が増加し、また就職も増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・特に、製造業からの求人数が増加している。新卒、中途採用両面から求人活動を行っている企業も多い。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・例年6月は、求人数が非常に増加するが、今年は大きな動きがなく、若干、前年割れしているような状況である。

	人材派遣会社 (支店長)	雇用形態の様子	・派遣求人数はほぼ例年どおりで推移しているが、その依頼動機のほとんどが欠員補充であるため、総労働人口は変わらない。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・製造業などの現場職採用は活性化しているが、幹部層採用はそれほどでもなく、ネットでの求人は活性化していない。
	求人情報誌製作 会社(従業員)	求人数の動き	・求人数は新卒採用時期を過ぎて、安定感が出てきており減少傾向にある。
やや悪く なっている	新聞社「求人広 告」(担当者)	周辺企業の様子	・建設業は受注が少なく、リフォーム部門に進出しているがあまり効果もないようである。小売店は、広告しても売れない状況が続いている。町中に新しい建物などもほとんど出来ておらず投資もされていない。
悪く なっている	-	-	-